

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社のぞみ不動産鑑定事務所
小平(都) - 8	東京都	多摩第 4	氏名	不動産鑑定士 飛田 崇

鑑定評価額	49,700,000 円	1 m ² 当たりの価格	279,000 円 / m ²
-------	--------------	-------------------------	----------------------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 7 年 7 月 3 日	(6) 路線 価	[令和 7 年1月]	220,000 円 / m ²
(2)実地調査日	令和 7 年 6 月 27 日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		小平市美園町三丁目 3 3 9 番 2 「美園町 3 - 9 - 1 7」				地積 (㎡)	(178)	法令上の規制等						
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設状況	主要な交通施設との 接近の状況		1 低専 (40,80) 高度(1種)						
	1 : 1.5	住宅 W 2	中規模住宅が多い既存の 住宅地域		東5.4 m 市道	水道、 ガス、 下水	小平250 m		(その他)						
(2) 近隣 地域	範囲	東 50 m、西 50 m、南 50 m、北 50 m			標準的使用	低層住宅地									
	標準的画地の形状等		間口 約 11 m、奥行 約 16 m、規模 180 ㎡程度、形状 長方形												
	地域的特性	特記事項 特にない		街路 基準方位 北 5.4 m 市道	交通 施設	小平駅北方250 m		法令 規制	1 低専 (40,80) 高度(1種)						
	地域要因の将来予測	地域の価格形成に影響を及ぼす特段の要因変動はないことから、当面は現状のまま推移するものと予測する。													
(3) 最有効使用の判定	低層住宅地					(4) 対象基準地の 個別的要因	方位			+2.0					
(5) 鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法	比準価格 279,000 円 / ㎡													
	収益還元法	収益価格 110,000 円 / ㎡													
	原価法	積算価格 / 円 / ㎡													
	開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡													
(6) 市場の特性	同一需給圏は小平市及び隣接市の住宅地域である。需要者は同一需給圏内に存し地縁的選好性を有する一次取得者が中心となるが、買替層による需要も存する。対象基準地の位置する地域は、駅から近く利便性が高いため、総額は高くなるが安定した需要が認められる。土地は㎡当たり 2.5 ～ 3.0 万円程度、取引が多い敷地面積における新築建売住宅は総額 5 , 0 0 0 万円台が中心である。														
(7) 試算価格の調整・ 検証及び鑑定評価 額の決定の理由	当地域は一般住宅を中心とした住宅地域で、自用での居住目的の取引が中心であり、居住の快適性や利便性が重視されるため、需要者の購入動機を反映した比準価格の説得力は高い。一方、収益物件の取得を目的とした需要者による取引は限定的であることから、収益価格の説得力は相対的に低い。以上より、比準価格を採用し、収益価格は参考に留め、指定基準地及び周辺公示地との検討を踏まえて、鑑定評価額を上記のとおり決定した。														
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	代表標準地 標準地番号 小平	標準地 - 16	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準 化補 正 その他	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 +2.0 0.0 0.0	地 域 要 因 その他	街路 交通 環境 行政 その他	-2.0 0.0 +12.0 +3.0 0.0	
	公示価格 311,000 円 / ㎡		[101.6] 100	100 [102.0]	100 [113.1]	[102.0] 100	279,000								
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号 小平(都)	- 5	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の標準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準 化補 正 その他	街路 交通 環境 画地 行政 その他	0.0 0.0 0.0 +2.0 0.0 0.0	地 域 要 因 その他	街路 交通 環境 行政 その他	-2.0 -1.0 +25.0 +3.0 0.0	
	前年指定基準地の価格 339,000 円 / ㎡		[103.2] 100	100 [102.0]	100 [124.9]	[102.0] 100	280,000								
(10) 対年 ら象 標の 基準 検準 価討 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 271,000 円 / ㎡			価 格 変 動 形 成 要 因 の	(一般的 要 因)		物価上昇、海外情勢、米国関税措置等による先行き懸念はあるが、不動産市況は低金利等を背景に概ね堅調に推移している。								
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討				(地 域 要 因)		小平駅に近い利便性の高い住宅地域である。地域要因に特段の変動はなく、概ね安定的に推移している。								
	代表標準地 標準地番号	標準地 -			(個別的 要 因)		方位の優位性以外は近隣地域内でほぼ標準的な画地である。個別的要因に特段の変動はなく、市場競争力は普通程度である。								
	公示価格 円 / ㎡														
変動率		年間 +3.0 %	半年間 %												